

ポーニャ大学への協定留学(交換留学) 月例報告書(2月分)

文化政策学部 国際文化学科 3年

【はじめに】

みなさんこんにちは！ポーニャは2月に入り暖かい日が増えてきました。少しずつ春の訪れを感じるようになり、日照時間も長くなって気持ちも明るくなります。これから出会えるイタリアの季節にわくわくしながら、残り半分の留学生活を楽しんでいきます。

【トリノ小旅行】

前のハウスメイトがトリノに住んでいるため、彼女を訪ねて日帰りのトリノ旅行に行ってきました。ポーニャから2時間半、電車で揺られてトリノに到着しました。イタリア北部に位置し標高が高いためか、空気が美味しく感じられました。ポーニャと比べると街が清潔で、川や山など自然あふれる環境がとても魅力的でした。

トリノは、イタリア初代の首都ということもあり、歴史を感じる建物が数多く残っています。私たちはその中でも、トリノ王宮を訪れました。王宮内部は豪華絢爛で、壁の装飾はサヴォイア家の繁栄を感じさせる空間でした。特に印象に残った展示は、武器庫の展示です。かつて戦いで使用されていた鎧や剣、銃などが展示されていました。どの武器にも繊細な細工がされていて美しく、まるで芸術作品のようでした。さらに、日本の兜や刀も展示されていて、思わず嬉しくなりました。

また、レオナルドダヴィンチの展示もありました。レオナルドは鏡文字を書くことで知られており、手記は普通に見ると読めません。しかし、部屋の中央に置かれた鏡を使うことで、文字が反転し読めるようになっていました。(全く読めませんでしたが) 展示としては、最高のアイデアでした！

昼食にはトリノ名物の詰め物パスタ「アニョロッティ」を食べました。ポーニャでもトルテッリーニを食べたことがありますが、同じ詰め物パスタでも出汁がきいてとても美味しかったです。そして、「ビチェリン」というチョコレートドリンクも飲みました。ホットチョコとコーヒーの

中間の味で、ちょうどよい苦みで飲みやすかったです。

今回は日帰り旅行ということで約6時間しか滞在できませんでした。トリノにはまだまだ訪れるべきところがあるので次回はゆっくり観光したいと思います！

【オリンピック観戦】

まさか自分が日本でもない、イタリア開催のオリンピックを見に行くとは夢にも思っていませんでした。もともとチケットはもう取れないだろうと思っていたのですが、女子アイスホッケーの日本対スウェーデンのチケットを試合の3日前に購入でき、勢いでオリンピック観戦を行いました。

会場に入ると、国旗が掲揚されておりその瞬間に「本当にオリンピック会場に来たんだ」と胸が熱くなりました。アイスホッケーのルールもほとんど知らないまま会場に入りましたが、そんな心配は必要ありませんでした。氷上の格闘技、その名の通り、激しくスティックがぶつかり合いパックも目まぐるしく移動します。そのスピード感が面白く、ハラハラしながら大興奮で観戦しました。

試合結果は日本が0-4で負けてしまいました。しかし選手たちの必死な姿に心を打たれ、思わず泣きそうになるほど感動しました。いつかまた、オリンピックを現地で観戦したいです！

【ポーニャ大学付属の語学学校】

2月の最終週から再びイタリア語のクラスが始まりました。前回のクラスよりも一つ上のクラスになり、メンバーも一新しました。オランダ、オーストリア、韓国など多種多様な国籍な生徒たちと学んでいます。5月末の最終試験まで、予習復習を欠かさず、新しいことを学んでいきたいです。

【おわりに】

今月も読んでくださってありがとうございました。長い冬が終わり、太陽をたくさん浴びることで心も身体も元気になった気がします。イタリアでも桜が見られるのか、そんなことを考えつつ、新しい季節に心を躍らせています。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、たくさん寝て、たくさん食べて、たくさん歩いて、健康に過ごしたいと思います。Arrivederci☆

Torino



ダ・ヴィンチの手記

Olimpiadi



ピザエリン



トリノ名物: アニョロツティ



The Floの
この子をお迎え
しました!!

イースターが
すぐをこ...

